



柏原中だより

令和7年 7月号終業式号 狭山市立柏原中学校

〒350-1335 狭山市柏原2520-11 TEL04-2954-5073 生徒数 256 名

＜学校教育目標＞ 今を精いっぱい生きる・凡事徹底 ○希望を持って進む生徒

「1学期を振り返って」 ※終業式講話（抜粋）より

校長 采澤 敬

今日で72日あった1学期が終了します。この間、大きな事故もなく終わることができました。また、1学期の学校行事等についても、予定どおり実施することができました。何よりも皆さんの頑張りと努力した部分が大きかったと感じています。ご苦労様でした。

1学期を学年別に簡単に振り返ってみます。

まず、1年生です。入学したときは制服がだいぶ大きく感じましたが、最近は中学生らしく馴染んできました。中学校生活には慣れたでしょうか？ あいさつなど、基本的な生活習慣はできていたと思います。2学期は体育祭や音楽会などの大きな行事があります。集団として、他人をいたわる気持ちをもちながら、周囲と協力し、精一杯頑張ってください。

次に、2年生です。以前、2年生は「学校の核」という話をしました。1学期、部活動によっては3年生からバトンタッチされ頑張っています。今後も、いろいろな場面でバトンタッチされます。文字通り学校の核になっていきます。当然、困難もあります。ぜひ、その困難を皆で乗り越えながら、よりよい集団を作ってください。

次に3年生です。3年生は集団として、何事も皆で協力してやろうという姿勢がととてもよいです。いよいよ、進路決定に向かうわけですが、是非、この集団力を生かしてください。進路決定は個人的なものと考えられがちですが、実は集団力が生きてきます。集団にやる気が満ちていれば、頑張ろうという気持ちになります。仲間と共に頑張ってください。

さて、夏休みは44日あります。夏休みに向けて、私から3つの課題を出します。

1つ目は、あらかじめ計画を立て、規則正しい生活をしてください。夏休みを充実させるためにも、ぜひ、生活リズムを整えてください。

2つ目は、家の手伝いをしてください。普段から実践している人もたくさんいると思います。家族の一員として感謝の気持ちを持ち、お手伝いを実践してください。

3つ目は、1学期の生活を振り返り、2学期の目標を決めてください。振り返りは、できたこと、できなかったことの両方を振り返ることが大切です。また、目標は努力すれば届く範囲で、「高過ぎず、低過ぎず」が大切です。

以上、3つの課題を実践しながら、充実した夏休みを過ごしてください。

2学期、心身ともに一回り成長した皆さんに会えることを期待しています。

1年生救急救命講習会

6/25（水）に1年生は、体育の時間を利用し、救急救命講習会を実施しました。指導者として、広瀬分署の隊員3名に来ていただき、胸骨圧迫やAEDの使い方などを丁寧に教えていただきました。今後、緊急の対処が必要な場面に遭遇した際に、今回学んだことが少しでも救助や支援、命をつなぐことへの役に立てればと思います。



令和7年度 狭山地区硬筆展覧会（※審査会のみ）

特選：新谷心陽(2-1)【県展入選】

金賞：鈴木李咲(1-1) 齋藤花梨(1-2) 長谷川莉子(1-3) 川添 響(2-2) 戸田実李(2-2)

銀賞：阿部希香(1-1) 吉田優利(1-2) 森 望(1-3) 林 和奏(2-1) 芦原希美(3-1)

長田莉乃(3-1) 三上妃葵(3-1) 芦川柚花(3-2) 鶴岡愛結(3-2) 蜂谷 芽(3-3)

学校総合体育大会 県大会〈速報〉

7/10（木）、11（金）に、硬式テニスの県大会が大宮第二公園で行われ、本校の吉田悠佑さん（3年生）が個人戦シングルスで優勝しました。おめでとうございます！
今後、吉田さんは、8月に栃木県で行われる関東中学校体育大会に出場します。試合では、力を十分に発揮して頑張ってください。

白髭神社境内社「八坂神社・神幸祭」神輿巡幸ボランティア

7/13（日）、白髭神社にて神輿巡幸が行われました。本校からも今年度は20名ほどの生徒がボランティアとして参加し、地域の方々と一緒に神輿を引きながら、柏原地区を歩きました。当日は日差しも強く、気温も高かったのですが、上宿コースと下宿コース両方に参加する生徒もあり、皆、最後まで歩ききりました。本当にご苦労様でした。



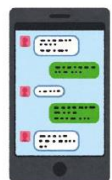
あなたのSNSの使い方は大丈夫？

現在、自分専用のスマートフォンを持っている人が増え、SNSなどのサービスの利用が日常的なものになってきた一方で、ネットいじめの問題も深刻化しています。

ネットいじめにはどのようなものがあるのか

ネットいじめとはどのようなものなのか、代表的な例を以下に紹介します。

- ・友だちの写真を勝手に撮影し、冗談半分の悪口と一緒にSNSに投稿する。
- ・SNSで特定の生徒になりすましたアカウントを作り、不適切な投稿をする。
- ・無料通話アプリのステータスメッセージの欄に、対象の人物は明記せず、読む人が読めばわかるように悪口を書く。
- ・チャットグループで特定の生徒の悪口を言う、また特定の生徒が発言したときだけ無視をする。



インターネット上のコミュニケーションの特徴を理解しておきましょう

インターネット上のコミュニケーションは、顔の見えない相手との文字でのやりとりです。対面での会話と違って、声のトーンや相手の表情などの情報もなく、文字だけで相手の気持ちを判断しなくてはいけません。文字だけで気持ちを伝えるのはとても難しく、自分は普段と同じ感覚で冗談を言っていただけなのに、相手はそれをいじめと受け取っていたということもあります。

ネットいじめは被害者に大きな精神的ダメージを与えます。日頃から、相手がどう感じるかを意識してメッセージを送るようにしましょう。また、自分がいじめの被害にあったときや、いじめが疑われる書き込みを見つけたときは、すぐに周りの大人に相談してください。

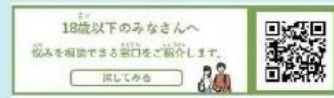
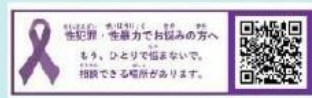
ネットトラブル注意報（埼玉県教育委員会）より

<子供のSOSの相談窓口>

文部科学省ウェブサイトでは、下記のような、性犯罪・性暴力、不登校など、お困りごとに対応可能な窓口を一覧化しています



こちらからアクセス



どうどん
SNSで相談する

